

令和元年度
事業報告書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

社会福祉法人あいあい福祉会

特別養護老人ホーム みず和の郷

ショートステイ みず和の郷

社会福祉法人あいあい福祉会

【法人基本理念】

『共に生きる しあわせ』

【みず和の郷基本理念】

- 1、 お年寄りが人としての尊厳をもって地域や施設の中で、その人らしい 自立した生活を送れるように支えていきます。
- 2、 職員が和を持ち、「奉仕・愛情・信頼」の心を根幹として、毎日が心豊かな日々でありますよう全力をあげてお守りいたします。
- 3、 施設が地域住民・関係団体と活発に交流し、地域と共に生きることを目指していきます。

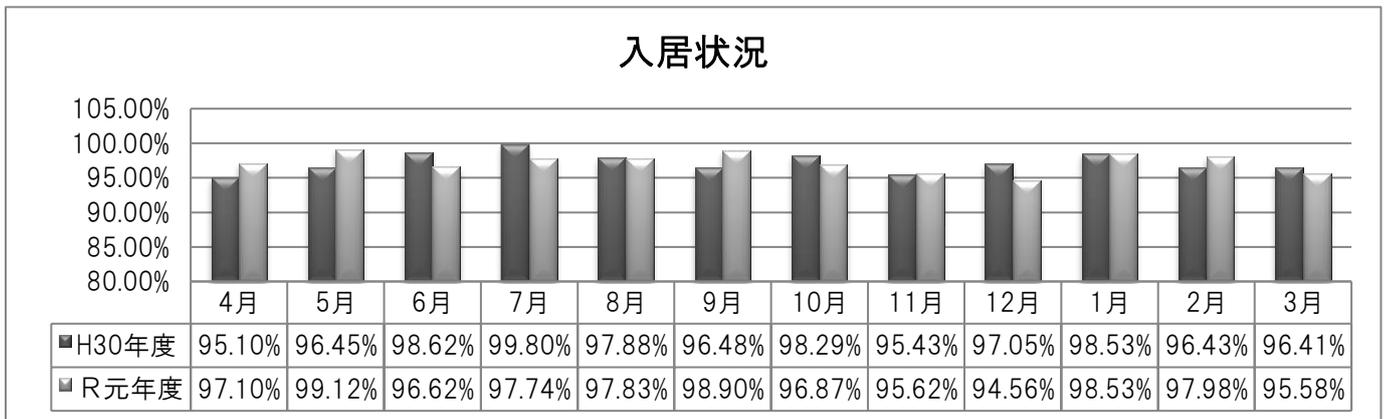
【みず和の郷基本方針】

- 1、 お年寄りの人権を守り、心身ともに健やかな生活を営むことのできる生活支援の取り組みに努める。
- 2、 お年寄りと職員が、介護を通じて相互の信頼関係の強化に努める。
- 3、 お年寄りと職員が、共に生きる喜びをあげることのできる施設造りをする。
- 4、 職員すべては、その職務において介護の専門性を向上させるため、学習とその実践に邁進する。
- 5、 お年寄り一人ひとりが豊かな生活の確保と地域社会に参加できるように支援する。

《支援部門》

1、特養入所状況

	入居者（人）			延べ日数 合計	居室 稼働率		入居者（人）			合計	居室 稼働率
	入居者数	入居	退居				入居者数	入居	退居		
4月	70	0	0	2,039	97.10%	10月	70	3	3	2,102	96.87%
5月	69	0	1	2,151	99.12%	11月	70	1	1	2,008	95.62%
6月	69	3	3	2,029	96.62%	12月	70	2	2	2,052	94.56%
7月	70	1	0	2,121	97.74%	1月	70	4	4	2,055	98.53%
8月	69	1	2	2,123	97.83%	2月	68	1	3	1,989	97.98%
9月	70	2	1	2,077	98.90%	3月	68	6	6	2,074	95.58%
合 計	平成30年度 月平均稼働率 97.07%										
	令和元年度 月平均稼働率 96.89%										



平均稼働率は96.89%であり、前年度比0.18%低下しているが、原因として①老健、グループホーム、サ高住からの移動に一定の期間を有する。②年間を通し看取り介護者が平均10名と1月当たりの退居数が増加。という原因が考えられる。退居調整については適切にスムーズな調整に努めている。

入院者数・延べ日数

H30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	6	5	1	1	2	4	3	6	3	2	4	3	40
延日数	98	68	24	4	41	66	34	85	54	22	77	67	640
R元年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	3	3	5	4	3	1	2	6	7	7	4	3	48
延日数	61	15	54	39	30	11	47	89	107	82	39	42	616

退院調整のため病院ソーシャルワーカーとの細やかな連携により、病状安定確認と共に空床期間短縮を目指し退院に向けたスムーズな対応を実施した。

2、特養入退居状況

	入居前状況				退居理由		
	在宅	SS	他施設 (※1)	医療機関	他施設 (※1)	入院 (※2)	死亡 (※3)
H30	1	4	12	2	0	1	18
合計	19				19		
R1	6	3	10	5	0	0	26
合計	24				26		

(※1) グループホーム・老人保健施設・サ高住等

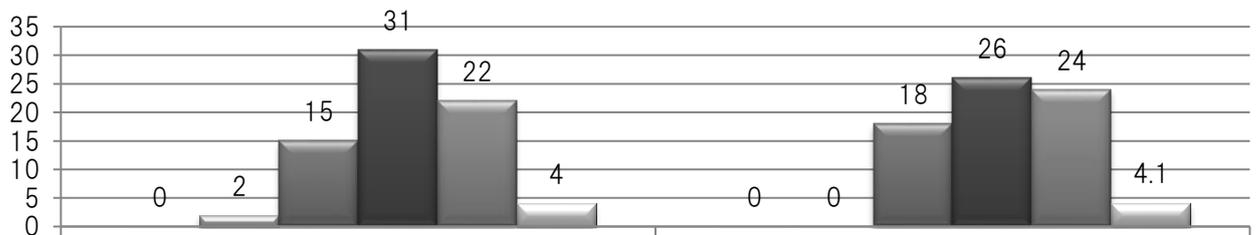
(※2) 入居時の身体状況により家族からの退居申し出によるもの、入院期間3ヶ月超過による退所ケース。

(※3) 入院中に医療機関で死亡のケースも含む。

3、特養介護度

	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	H30	R1										
介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護2	4	2	4	0	3	0	2	0	2	0	2	0
介護3	14	17	15	17	14	18	15	18	15	16	15	17
介護4	32	29	32	28	32	28	32	28	32	28	32	30
介護5	20	22	20	24	22	23	23	24	23	25	23	23
平均	3.97	4.01	3.96	4.10	4.03	4.07	4.06	4.09	4.06	4.13	4.06	4.09
	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	H30	R1										
介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護2	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0
介護3	14	18	14	18	15	17	15	16	15	15	15	18
介護4	32	30	32	29	32	29	32	30	31	29	31	26
介護5	22	22	24	23	23	25	22	24	22	24	22	24
平均	4.06	4.06	4.08	4.07	4.06	4.17	4.04	4.11	4.04	4.13	4.04	4.09

入居者要介護度



■要介護1	0	0
■要介護2	2	0
■要介護3	15	18
■要介護4	31	26
■要介護5	22	24
■平均	4	4.1

入居基準が介護3以上となってから平均要介護度は徐々に上昇し続けている。

このことに伴い一人当たりには要する介助時間が多くなったり、BPSD 症状(認知症周辺症状)を有する方が、寝たきりで医療依存度の高い方が増えている。

また、平均入居期間が短くなり、入居と退居が頻繁に行われている。

4、特養入居者年齢

		64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100～	計
男	H30	1	1	1	0	1	4	5	1	1	15
	R1	1	2	0	2	3	3	4	2	1	18
女	H30	0	0	0	6	9	11	17	11	1	55
	R1	0	1	0	4	11	9	14	10	1	50
計	H30	1	1	1	6	10	15	22	12	2	70
	R1	1	3	0	6	14	12	18	12	2	68
H30年度		男性平均 86歳		女性平均 88.8歳		全体平均 88.2歳		最高 101歳		最低 61歳	
R1年度		男性平均 84.6歳		女性平均 89.0歳		全体平均 87.8歳		最高 102歳		最低 62歳	

5、特養在所期間入所者状況

		1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	計
男	H30	5	5	1	2	2	15
	R1	7	7	2	1	1	18
女	H30	12	23	5	11	4	55
	R1	16	16	7	9	2	50
計	H30	17	28	6	13	6	70
	R1	23	23	9	10	3	68
H30	男性 3年1ヵ月 女性 3年4ヵ月 全体平均 3年4ヵ月 男性最長 12年 女性最長 12年5ヵ月						
R1	男性 2年3ヵ月 女性 3年1ヵ月 全体平均 2年10ヵ月 男性最長 11年1ヵ月 女性最長 13年5ヵ月						

特養としての役割を果たし最後までご家族に代わり1日でも長くケアできるよう努めているが、重度化に伴い、前年に比べ平均在所期間が6ヵ月程度減少している。

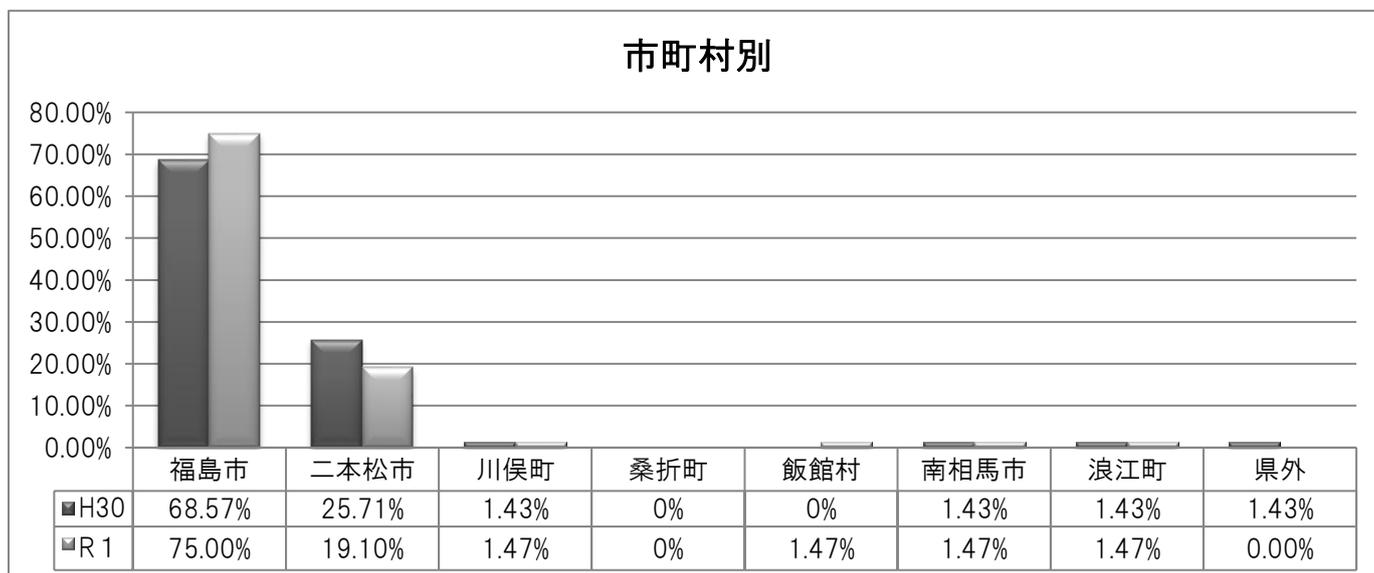
6、面会状況

H30年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総利用者数	187	214	200	200	202	203	204	215	237	233	102	232	2,427
1日平均	6.23	6.9	6.67	6.45	6.52	6.77	6.58	7.17	7.65	7.52	9.27	7.48	6.99
R1年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総利用者数	179	197	183	189	193	180	152	145	145	125	100	52	1,840
1日平均	5.97	6.35	6.1	6.1	6.22	6.0	4.9	4.83	4.68	4.03	3.45	1.68	5.03

3月面会者数…新型コロナウイルス感染予防のため、3/16から看取り介護対象者以外の面会制限を行ったため減少した。

7、保険者

保険者	福島市		二本松市		川俣町		桑折町	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
H30年	11	37	4	14	0	1	—	—
	68.57%		25.71%		1.43%		—	
R1年	15	36	3	10	0	1	—	—
	75.0%		19.1%		1.47%		—	
保険者	飯館村		南相馬		浪江町		県外	
性別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
H30年	—	—	0	1	—	—	0	1
	—		1.43%		—		1.43%	
R1年	0	1	0	1	0	1	—	—
	1.47%		1.47%		1.47%		—	



松川地区近隣のご入居者が増えている。住み慣れた地域に入居する事で家族の面会も増えている。

8、令和元年度特養活動報告

I. 介護支援専門員

- ・カンファレンスを通し看取り介護対象者が月平均10名と利用者1人当たりの介護に要する時間が増えているなかで、認知症の周辺症状(BPSD症状)利用者への対応の工夫を各部門協力のもと実施。また、担当ユニットを中心に各部署が協力しケアにて介護事故軽減に努めた。
- ・介護計画に基づく確実なモニタリングに繋がれるよう介護職員1人ひとりに計画書に対する理解を深めるケアの質向上に努めた。
- ・リーダー会議、ユニット会議を通し、計画書の実施評価を介護員が行うことでケアの質の向上を図った。
- ・看取り介護が増える中で、一連の取り組みに関し、看取り委員会、カンファレンスを通し多職種共同で取り組むことができた。
- ・振り返りのカンファレンス実施により、看取り対象者のケアの質の向上につながっている。
- ・24hシートと早期作成に向け、ユニット単位における日課表を作成し、利用者個人毎のケアシートにつなげられるよう取り組み始め、ケアの質の向上と合わせ介護の負担軽減に努めている。

II. 生活相談員（特養）

- ・要介護度 4.5 の重度の利用者を多く受け入れたことで、入退居者の増加が著しく、平均介護度も上がっているが、居室稼働率は 96.89% と高稼働率の維持継続ができた。
- ・松川在住の方の入所が 45% であった。また、松川地域周辺の方や松川在住の家族の申し込みから入所へ繋げていくことができた。
- ・入居者一人ひとりのニーズに合わせ、他職種と連携し支援することができた。
- ・家族へ面会時や電話連絡、一筆箋等を通し細やかな情報提供を行ない、家族が要望を伝えやすくなるよう信頼関係の構築に努めた。
- ・入居者の重度化に伴い看取り介護対象者が増加しているが、一人ひとりの体調変化に応じ即時適切な対応をし、施設で最期まで安心した生活が送れるよう努めた。
- ・入居者の重度化に伴い入院実人数が増加しているが、医療機関との細やかな連絡調整に努め、病状安定後のスムーズな退院を支援することで入院延日数の減少に努めた。
- ・定期的に入居判定委員会を開催し、居室高稼働率を維持できるよう、入居へ向けた早期対応に努めた。
- ・第 45 回福島市福祉作品展へ各ユニットと個人で作品を出品。特別養護老人ホームで市長賞・ショートステイで福島市老人クラブ連合会長賞・個人で努力賞と 3 作品受賞。施設全体で取り組み、地域へ当施設をアピールすることができた。
- ・介護等体験実習生の受け入れシステム変更に伴い、今年度の受け入れは 0 人となった。
- ・ボランティアの受け入れや地域の行事に積極的に参加し交流を図り、相互関係構築に努めた。

9、ショートステイ実績

月 理由別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	利用者数	男	22	21	17	19	20	21	22	22	17	13	17	16
	女	27	24	22	23	26	25	30	29	28	30	29	29	322
延べ 利用 日数	支1	2	0	0	0	4	2	3	0	0	0	0	0	11
	支2	10	11	14	12	21	19	38	14	20	17	14	25	215
	1	48	27	40	38	37	24	81	70	87	73	67	68	660
	2	96	92	75	103	118	79	97	69	59	73	86	98	1045
	3	42	40	39	30	36	71	68	92	87	98	77	77	757
	4	77	88	59	80	97	81	84	64	77	58	67	55	887
	5	133	132	136	119	105	163	116	129	125	104	100	72	1434
	計	408	390	363	382	418	439	487	438	455	423	411	395	5009
稼働率	%	68.0	62.9	60.5	61.6	67.4	73.2	78.5	73.0	73.4	68.2	70.9	63.7	68.4
男性平均 82.7 歳 女性平均 87.1 歳（全体平均 85.3 歳） 最高年齢 100 歳 最低年齢 55 歳														

ショート稼働率と新規受け入れ者数



【居宅介護支援事業所名】	(人数)	(定期)	まごころケアサービス二本松	2	
ライフ・タイム福島居宅介護支援事業所	13	1	ミニとまと指定居宅介護支援事業所	2	
指定居宅介護支援センター松陵	12	3	あだたら荘指定居宅介護支援事業所	1	1
ライフ吉井田居宅介護支援事業所	11	3	しのぶ病院居宅介護支援事業所	1	1
ふくしま訪問看護ケアプランセンター	7	1	ニチイケアセンター太平寺	1	1
居宅支援事業所にほんまつ・あだち	6	1	居宅介護支援事業所 エルタ	1	
ケアプランセンター小倉寺	5	1	居宅介護支援事業所 シニアガーデン	1	
あづま脳外居宅介護支援事業所	4	1	居宅介護支援事業所万葉	1	
よろこび介護支援センター	4	1	居宅介護支援センター グリーンライト	1	
リブレ松川居宅介護支援事業所	4	1	ケアサービスセンターみどりの郷	1	
土湯宝生園指定居宅介護支援事業所	4		けやきの村指定居宅介護支援事業所	1	
居宅介護支援事業所はなしのぶ	3	2	指定居宅介護支援事業所あだたら	1	
指定居宅介護支援事業所 ひまわり苑	3	1	つどい支援事業所 福島	1	
すかわ指定居宅介護支援事業所	3	1	ハッピー愛ランド	1	
にじのまち指定居宅介護支援事業所	3	1	福島市社会福祉協議会居宅介護支援事業所	1	
ニチイケアセンター南福島	3	1	やすらぎの郷居宅介護支援センター	1	
ふくしま緩和ケア	3	1			
優心指定居宅介護支援事業所	3	1	【地域包括支援センター名】		
愛の里居宅介護支援事業所	2	1	松川地域包括支援センター	2	1
アグリホーム指定居宅介護支援事業所	2	1	二本松第1地域包括支援センター	2	
居宅介護支援事業所なごみ	2		蓬莱地域包括支援センター	1	

10、令和元年度ショートステイ活動報告

- ・ユニット職員考案の「クッキングレク」は『5のつく日はご飯の日』とご利用者、ご家族にも徐々に定着してきた。「また参加したい」とリピーターの確保に繋がった。
- ・苦情に対して早期対応を心掛け、他部門と情報共有したことでサービス向上に繋がった。一方で、稼働率は死亡、他施設への入居やショートステイへの移行等の理由で低下した。
- ・緊急受入、長期利用受け入れ等の取り組みで新たな事業所、疎遠になっていた事業所からの紹介により関係事業所数は増加した。

《介護部門》

○さくらユニット

5月	14日 母の日	10月	27日 秋祭り
6月	17日 父の日	12月	15日 誕生会
8月	3日 夏祭り	1月	28日 誕生会
9月	3日 敬老会 29日 誕生会	2月	16日 誕生会

《活動報告》

- 1、ご入居者個々のADLに対し、過度に介助、介入してしまう場面が多々あった。
- 2、ご家族との面会時の近況報告等、コミュニケーションは図れていたため継続していきたい。
- 3、環境整備、清掃に関しては実施されているも、特定の職員に偏っていた。
- 4、前年度に進められなかった24時間シートについては、大まかではあるも作成に着手できた。
- 5、ご入居者への声掛けや接し方について、職員間でのばらつきがあった。ユニット会議があまり開催できず情報、対応についての共有が不十分であったことが原因の一つである。
- 6、勉強会への参加は職員によりばらつきがあった。自発的に参加するよう働きかけが必要。
- 7、担当居室の管理が不十分であり、清掃も行ってはいたが、行き届いていなかった。
- 8、行事は誕生会が主ではあったが、内容はそれぞれのご入居者に合わせたものを計画できた。

○もみじユニット

4月	19日 誕生会	10月	20日 誕生会
5月	12日 誕生会	11月	17日 誕生会
8月	3日 夏祭り	12月	24日 クリスマス会
9月	23日 誕生会	1月	19日 誕生会

《活動報告》

- 1、ユニット会議の場で、介護の学習を参考書などを用いての勉強会を開催したり、職員一人ひとりの考えを発表する機会が少なかった。また、ご入居者に安心して生活を送れているかを常日頃の生活の中で汲み取る工夫も不足した。
- 2、ユニットのハード面で家庭的な雰囲気を作り出す事が出来なかった。ご入居者の生活の中で何処に何を置いたらどうなるか等の話し合いが職員同士で活発にされていなかった。入居者目線の介護が出来る環境づくりが不十分だった。
- 3、掃除については不十分な所が目立ったが、汚れていたらすぐに綺麗にする事を心掛けて取り組んでいた。リビングだけではなく居室の掃除を担当者が責任を持って行うようにした。

4、行事は単に誕生会を毎月開催している事が多くなってしまった。それ以外にもご入居者のやりたい事、食べたい物、行きたい場所等を聞き取り行事に活かすきれなかったのが一番の反省である。

○けやきユニット

4月	花見ドライブ	10月	24日 菊人形見学 25日 誕生会
5月	18日 誕生会、母の日	11月	2日 銀杏並木見学
6月	18日 父の日	12月	23日 誕生会
7月	14日 誕生会	1月	21日 団子さし 28日 正月遊び
8月	5日 夏祭り 25日 誕生会	2月	3日 節分、豆まき 14日 バレンタイン
9月	14日 敬老会 30日 誕生会	3月	22日 スポーツ三昧

《活動報告》

- 1、ユニット行事について、ほとんどのご入居者がご自分の意思を伝えられない方である為、職員の裁量でユニット行事を企画し、進めることがほとんどであった。常日頃から、ユニット行事については「どのようなことを催せば喜んでいただけるか？」ということテーマに掲げ、計画を立てているが、実施内容に関してはどの行事も似たようなものになってしまい、誕生会は全員のお祝いをする事が出来たが、似たような流れだとの指摘があった。
- 2、外出について、施設の外出は特定のご入居者の参加が多くなり、偏りが見られてしまった。

○しらかばユニット

4月	14日 花見	10月	3日 外食ツアー 20日 新そば祭り参加
5月	19日 母の日	11月	17日 銀杏並木見学
6月	23日 父の日・誕生会	12月	24日 クリスマス会
7月	12日 紫陽花見学	1月	9日 新年会・餅つき大会
8月	3日 夏祭り・誕生会	2月	3日 節分
9月	11日 誕生会・敬老会	3月	8日 ひな祭り

《活動報告》

- 1、ご入居者の希望に沿ってトイレ誘導を行うことで、トイレでの立位動作が向上し、車イスを自操される様子もみられADLが向上した事例があった。
- 2、ご入居者が不穏になった時の対応が十分にでないケースがあった。
- 3、「報告、連絡、相談」に関して、昨年より申し送りノートや口頭で伝えるなど工夫はみられたが、しっかりと伝達されておらず、当日に連絡される事例もあった。
- 4、ユニット職員1人ひとりの意見交換は活発に行っていた。
- 5、短時間でもすぐに清掃が行なえるよう備品を整え実施した。
- 6、年間活動に支障は無かったが、嘔吐者の対応を迅速に行うための準備が不足した。

○しゃくなげユニット

4月	17日 誕生会	10月	17日 銀杏並木見学 27日 秋祭り
5月	10日 母の日	11月	24日 誕生会
7月	6日 紫陽花見学	12月	22日 誕生会
8月	4日 夏祭り 21日 流しそうめん	1月	9日 餅つき大会 12日 団子さし
9月	3日 敬老会	2月	16日 誕生会

《活動報告》

- 1、申し送り表・ノートを活用し、統一したケアに努めることができた。
- 2、毎月のユニット会議の実施が至らず、ユニットケアについての説明や24時間シートの作成に不備が生じていた。
- 3、ユニット行事、誕生会の実施においては、予定通り実施できた。長期の看取りとなったご入居者に対しての誕生会の内容を会食ではないもの、喜んでいただけるものは何か、実施に至らなかったが職員一丸となり計画することができた。

○あだたらユニット

4月	花見	10月	12日 松川町秋季例大祭見学
5月	5日 誕生会 12日 母の日	11月	10日 菊人形・銀杏並木見学
6月	9日 父の日 30日 誕生会	12月	22日 誕生会
7月	21日 誕生会	1月	13～14日 団子さし
8月	3日 納涼祭 25日 誕生会	2月	3日 節分 16日 誕生会
9月	11日 敬老会 29日 誕生会	3月	3日 ひな祭り

《活動報告》

- 1、外出行事や計画を通じ、気分転換や生活パターンに飽きのこない活動に積極性を欠いた。
- 2、看取り対象者が多く、ユニットで楽しむ為の計画が立て難く試行錯誤して年度が終わってしまった感があった。
- 3、ユニットの運営に必要な書面整理が全くできていなかった。本来進めていかなければならない24Hシートの作成や、計画書・報告書の早期提出といった所が全く追いつかず後手になってしまっていた。
- 4、ご入居者一人ひとりのケアとしては状態・状況を情報共有し手厚く出来ていた。

○ささもりユニット

4月	11～18日 花見	10月	3日 外食
5月	13日 藤棚見学 14日 母の日	1月	2日 おやつ作り
6月	6日 誕生会 23日 父の日	2月	12日 外出
9月	25日 誕生会	3月	23日 誕生会

《活動報告》

- 1、毎月のユニット会議等で各職員が互いの進捗状況を持ち寄り、ケアの見直しを図ることが出来ていた。しかし、事故予防に関する取り組み、振り返りが曖昧で不十分であった。また、ケアプランと連動したサービスの提供と見直しに関して、PC上でプランを確認し、サービスを提供、実績を記録するといった取り組みを、ユニット内である程度達成できていた。その実績として、記録の内容が前年度よりも具体化しており、他部署からもカンファレンス等で、状態をよく把握できると評価をもらった。
- 2、ショートステイとの合同行事を始め、隣ユニットと協力してご入居者の主体性を優先して支援できていた。前年度同様質の高い認知症ケア、ご入居者のその場その場の意思活動を柔軟に受け入れて都度対応できた。しかし、介助量の増加や一時的な人員不足等から、環境整備に手が回らないといった時期もあったので、場面に応じた対処と適時ヘルプ体制を築く必要がある。
- 3、通年の課題である24Hシートの作りこみが前年度より滞ってしまった。
- 4、ユニットの環境作りがほとんど進められていない。意見は募るものの、何が必要で効果的なのかが把握できなかった。また、ユニット内でのご入居者間の交流が少なかったように思える。
- 5、ご入居者を数名看取り、死との向き合い方、関わり方を学ばせていただくことができた。
- 6、昨年末にベトナム人技能実習生を受け入れ、言語と文化の壁がある中で職員一人ひとりが友好的かつ協調性を持ってかかわりを持つことができた。

○あぶくま・あづまユニット（ショートステイ）

4月	2日 オカリナで童謡を楽しむ 10日 花見 11日 おはなし三度笠	10月	13日 松川提灯祭り見学 18日 菊人形見学 30日 花笠音頭
5月	12日 母の日 13～15日 藤棚見学	11月	16日 鍋パーティー 17日 イチョウ並木見学
6月	16日 父の日	12月	20日 クリスマス会
7月	19日 日本舞踊鑑賞会	1月	1日 正月行事 2日 かぼちゃ善哉をたしなむ
8月	3日 夏祭り 18日 流しそうめん 20日 BBQ、花火大会	2月	14日 バレンタイン
9月	11日 敬老会 18日 彼岸花見、ドライブ	3月	1日 ひなまつり 12日 鍋パーティー 15日 おやつレク

毎月5のつく日は「ご飯の日」とし焼きおにぎり作りを実施。

《看護部門》

○看護活動報告

① 健康状態の把握

介護職員と連携し、健康状態の把握と異常の早期発見に努め、異常時に迅速な対応を行い状態悪化の予防をした。短期入所ご利用者に関しても、早期の対応にて体調悪化の予防に繋がった。

② 定期健康診断

入居者・・・年1回の基本健診 8月に実施した。

職員・・・年1回の基本健診 12月に実施した。

腰痛検査年2回 6月と12月の基本健診に実施した。

(夜勤を行う職員と看護職員対象)

年1回のストレスチェックを実施した。

③ 健康の維持

- ・定期・臨時通院の判断をし、他職種の協力を得ながら行った。
- ・環境調整の指導を行い、体調の変化に注意し疾病予防に努めた。

④ 感染症対策委員会の活動

教育委員会と協力のもと、吐物処理・感染症の勉強会を開催したが、職員の感染予防に対する取り組みの見直しが必要。今後再度見直しを行い、問題解決に努める。

⑤ インフルエンザ予防接種実施・・・11月下旬、12月上旬に実施

⑥ 令和元年度インフルエンザの罹患者は無かったが、新型コロナウイルス流行に伴い、予防への対応・対策が主となった。

⑦ 緊急時の対応

- ・救急蘇生の講習の参加。
- ・個別の医療的な対応について勉強会等を行い再確認する。

⑧ 他医療機関、主治医との協力体制

ご利用者様の状態、症状に合わせ主治医や医療機関との連携を図り悪化予防に努めた。

⑨ ターミナルケア

看取り委員会の定期的な開催ができた。今後は、看取りに関する勉強会を多くし、職員の意思の統一と積極的な関わり、職員主体の看取り介護となるよう努める。

○機能訓練活動報告

① 機能訓練について

- ・ご入居者が自立した日常生活が送れ、充実した生活が長く続くよう援助した。
- ・ご入居者の機能の現状維持・ADL 低下防止に努め、寝たきりにならない様に援助した。
- ・個別評価を行い個々に合った計画を立てリハビリを行った。

② 機能訓練計画書について

- ・入居前に機能訓練計画書を作成し、入居時にご家族に説明を行った。
- ・ご入居者の身体状況の把握及び介護員より生活動作の情報提供を受け、個々に合った機能訓練計画書を作成した。
- ・計画書作成後、速やかに実施するとともに、計画書は3か月を目安に再評価を行い、ご家族の同意を頂いた。(体調等の変化が有るときは適時作成した)

③ 計画内容

- ・ 特定の場所だけでなく、居室、ユニット、廊下、トイレ等生活の場所を利用した生活動作練習を行った。
- ・ 定期的活動への参加による生活リズムの調整。

《栄養部門》

① 6月10日から16日を便秘改善週間とし、月間平均食物繊維総量+3g（総量平均約12g・目標量17g）を目標に献立作成を行う。便秘に有効な食材（もち麦、発酵食品、乳製品、オリゴ糖、食物繊維強化の食品、甘酒）の提供を行う。情報発信のための給食だよりの作成を行う。開催期間が短かったこともあり、明確な効果としての効果は表れなかったため、月間で取り組んでもよかったという意見が多く聞かれた。

② 食事に関する話題作りと、食べやすさに配慮した各地の郷土食を楽しんで頂けるよう、給食だよりの配布と郷土食の提供を実施（実施内容は食事報告を参照）。

③ リクエストメニューを取り入れ、食べたいものを献立に取り入れることで、ご利用者と共に施設全体で献立を考える機会を毎月実施（実施内容は食事報告を参照）。食べたかったものが提供されることでご利用者から喜びの声をいただくことができた。他部署からのリクエストメニューは、いつもとは違う献立をどのようにしたら提供できるか、食べやすくできるか等、厨房内で検討を行う機会を得ることができた。

④ 衛生に関する勉強や給食に関する最新の正しい知識を身に付け、作業の統一化を図るため栄養委員会でのミニ勉強会の内容を厨房ミーティングでミニ勉強会として実施。外部の研修会は必要なものを厨房内で話し合っただけで精査し、担当者を決めて参加。業務の見直しについては定期的に行うようにし、都度改善を図るようにした。

⑤ ご利用者の体調や食事摂取の状況を把握し、必要時に栄養介入できるよう、栄養ケアマネジメントを実施。特に、食事摂取量減・体重減の方への食事内容の充実や、看取りケアの方への水分・食事内容について、支援・医務・ユニットと連携して取り組んできた。一人ひとりに合わせた食事内容は、業務においては複雑化してしまうため、食事内容についての協力体制を整えることができるよう、細やかな情報の共有が栄養部門内で図れるように努めた。

《会議、各種委員会報告》

○職員全体会（3カ月毎開催）

6月28日	30年度収支報告、技能実習生受入、食事配膳について、身体拘束、虐待防止研修など	12月27日	IOT活用、介護補助具やパート職員活用、食事提供道具検討、職員モチベーション向上対策、身体拘束、虐待防止研修など
9月27日	介護部門勤務体制、インフルエンザ予防、ストレスチェック、ベトナム実習生受入研修、健康増進研修など	3月27日	有期契約職員賃金規程および育児介護休暇規則変更、入退所の居室整理、次年度委員会体制、次年度目標、メンタルヘルス・アンガーマネジメント研修など

○調整会議

4月19日	永年勤続表彰、災害時連絡方法、入居者整容、業務伝達方法など	10月16日	上半期の反省と下半期の活動、非常食など
5月15日	技能実習生受入にあたり、情報伝達体制、フードロスなど	11月20日	人事考課、自己評価、インフルエンザ流行対応、ケアプランの評価、コンプライアンス研修など
6月20日	技能実習生現況、平成30年度収支報告など	12月18日	ICT導入、年末年始体制など
7月17日	技能実習生現況、勉強会開催、入居者健診、AED講習など	1月15日	次年度計画、看取り期前の対応、業務分担など
8月21日	緊急時連絡体制、外部研修推薦方法など	2月19日	感染症対策、介護用品など
9月18日	技能実習生受入準備、インフルエンザ流行対応、災害時の食事や対応など	3月25日	感染症対策、有期契約職員賃金規程および育児介護休暇規則改定、次年度目標など

○ユニットリーダー会議

4月4日	中途採用者OJT、各種情報共有、24Hシート進捗状況、退所者居室清掃、情報伝達方法など	10月3日	実習生受入、各種情報共有、介護食器検討など
5月3日	各種情報共有、入居者の整容、利用者観察ポイント整理、食前体操など	11月7日	実習生受入、各種情報共有、機能訓練、パート職員業務など
6月6日	車椅子点検表、各種情報共有、中途採用者OJT、緊急時連絡体制刷新、実習生受入など	12月5日	モニタリング評価、福祉用具点検、各種情報共有など
7月4日	実習生受入、各種情報共有、経管栄養準備、リネン交換など	1月9日	ICT活用勉強会、各種情報共有など
8月1日	実習生受入、記録方法、各種情報共有、利用者健診、夜間の看取りマニュアル変更など	2月6日	機能訓練実施方法、各種情報共有など
9月5日	各種情報共有、災害訓練、研修参加者選考、中途採用者OJT進捗確認など	3月5日	新型コロナウイルス対策、次年度計画、各種情報共有、介護実習生、ユニットの空間作りなど

○教育委員会

- ・身だしなみ・挨拶についての声掛けを継続して行った。
- ・施設内研修の時間やアンケート様式など協議を重ねた。
新型コロナウイルス感染拡大に伴い、開催中止となった研修あり。
- ・確実に基礎知識を身に付けられるように、教育委員会で研修内容を厳選した。
- ・施設外研修に参加した職員による伝達研修を昼礼にて行うようにした。
- ・教材としてブリコラージュ、月間デイを購入。

○感染・褥瘡予防委員会

- ・毎月第3月曜日に委員会を開催し、感染予防に努めた。
- ・感染予防に努めた結果、今年度のインフルエンザ発症は利用者・職員ともになかった。
- ・利用者の感染症の既往を把握することにより、予防対策を個々に検討し、周知に努めた。
- ・嘔吐物処理セットの準備・点検に努め、嘔吐があった場合には使用につなげた。
- ・全職員が、嘔吐物処理セットを正しく使用できるよう周知に努めた。
- ・施設内感染対策マニュアルを確認すると共に見直し更新に努めた。
- ・新型コロナウイルス感染症予防の学習を行い、感染予防に努めた。
- ・4月、11月には、感染症予防（特にインフルエンザ、ノロウイルス）の研修会を開催した。
- ・ご利用者の状態を把握し他部門と連携を図り、早期発見・早期対応・早期治癒に努めた。
- ・褥瘡予防の勉強会を独自に開催できなかったが、排泄介助等の研修会に参加することで褥瘡予防に努めることができた。

○自己評価委員会

12月に各部門代表者およびユニットリーダーが、福島県第三者評価基準を基に、施設サービスや質について評価し、低評価項目を調整委員会にて具体的な改善提案を検討した。

○事故防止、身体拘束防止委員会

- ・危険予知トレーニングとして、課題のイラストを基に危険個所を委員で出し合い、気付きの力向上を図った。
- ・福祉用具点検項目に新たな用具を追加したり、内容を刷新して事故防止に努めた。
- ・事件事例を分析し、再発防止と予防啓発に努めた。
- ・身体拘束防止、虐待防止研修を2回開催し、職員一人ひとりの意識付けと技術や介護観の向上に努めた。

○栄養管理委員会

- ・楽しみある食事提供ができるよう、行事食の充実を図った。
- ・食中毒予防にとどまらず、季節毎に流行が予測される感染症の衛生勉強会を開催し、委員会発信で食中毒予防と知識向上に努めた。

○行事委員会

- ・ご入居者に季節を感じて頂ける内容とし、見るだけではなく参加型の行事を心掛けた。
- ・職員の協力姿勢に個人格差があり、指導役が機能しないことが生じた。組織として適切に介入できなかったことが反省点。ただ、多くの職員は率先して行事運営に参画し、業務分担に努めていた。
- ・行事の種類によっては、実行する際に委員だけでは人員不足が生じた。協力者を事前に募っておく必要があった。

○看取り委員会

- ・毎月第4月曜日に委員会を開催した。
- ・看取りに関し、ご家族の意向に添い納得のいくよう説明・相談などの話し合い、十分にコミュニケーションをとり、安心してご利用者様の最期が迎えられるよう不安の軽減に努めた対応を行った。

- ・看取りに関する学習スタイルの研修を変更し、職員の関りを主とした勉強会を開催することができた。今後、内容をもっと密なものにし、より良いものとなるよう努める。
- ・ケアカンファレンスを通じ介護計画を基に、職員間の情報共有と取り組みについて話し合いケアに繋ぐことができた。不十分な部分に関しては、都度話し合い今後もしっかりとした情報共有ができるよう対策を検討する。
- ・業務上1週間以内のふりかえりのカンファ開催が困難な事もあったが、カンファの内容に関しても見直しをかけ有意義なカンファができるよう努めた。

○業務改善委員会

- ・機械浴利用の方が増えていることから、職員の意見を聞きながらその都度振り分けを行い、遅番職員が個浴終了後にヘルプに来てくれることで、効率よく進めることができた。それでも機械浴対応の方が多く、男性職員の力が必要な時に女性職員の割合が多いという時もあり、職員全員でお互いにカバーしていくことを継続していけるようにする。
- ・介助においてどのようなことが困難であるかアンケートを取り、新たな福祉用具を導入することを目標としていたが、協議内容をまとめるのが遅れ導入には至らなかった。

○衛生委員会

- ・ストレスチェックの結果や、職員の意見をもとに話し合いをすすめ、職場環境改善に努めた。
- ・腰痛予防、改善としてストレッチ体操の周知に努め、腰痛対策を図った。
- ・職場環境の適正化を継続するため、①スマホ・電子メディアの健康影響について②職場におけるハラスメントについて③怒りのコントロール④たばこと健康⑤受動喫煙についての研修を行った。
- ・体重が多い、脂質異常が多いとの健診結果がでており、対策に努めたが今後の課題でもある。

○安全委員会

喀痰吸引の暫定資格保有者に対し、正規資格取得のための研修を施設内で実施した。
看護師と連携し、適時指導を行うことで安全な吸引実施に努めた。

《ボランティア受入・地域行事・施設行事》

月	ボランティア	地域行事	施設行事
4月	11日 おはなし三度笠 18日 エプロンおばさん 25日 保育園交流会		2日 オカリナ鑑賞会 14日 お花見外出
5月	8日 松川民話の会		
6月	13日 エプロンおばさん	9日 水原地区運動会	6日 百寿お祝い会 23日 ローズガーデン見学
7月	4日 保育園交流会 10日 松川民話の会	13日 保育園夏祭り見学	6.12日 あじさい見学 19日 日本舞踊鑑賞会
8月	3日 ハイビスカス（夏祭り） 8日 エプロンおばさん	15日 水原盆踊り見学	3日 夏祭り 15日 水原盆踊り 18.21日 流しそうめん
9月	11日 ハイビスカス（敬老会） 11日 保育園交流会 18日 松川民話の会		11日 敬老会
10月	10日 エプロンおばさん	20日 新そば祭り外食	18日 菊人形見学 27日 芋煮会 30日 花笠踊り
11月	13日 松川民話の会		5日 干し柿作り 17日 銀杏並木見学
12月	12日 エプロンおばさん		9日 福祉作品展見学
1月	インフルエンザ流行時期の為 受入れ中止	インフルエンザ流行時期の 為外出自粛	1日 お屠蘇 9日 もちつき大会 12日 だんごさし
2月			3.23日 節分
3月			8日 藤八そば

《研修実績》

月	施設外研修	施設内研修
4月		30日 吐物処理
5月	30日 食事介助のスキルアップ（介護2名）	17日 排泄介助 29日 食事の配置について（厨房主催）
6月	8日 食のリハビリテーション（介護4名） 21日 腸が元気になる栄養ケア（栄養1名）	28日 身体拘束防止
7月	5日 災害リスク対策（介護主任・生活相談員） 11日 施設中堅職員研修（介護2名） 24日 福祉職員初任者研修（介護1名） 26日 コミュニケーションの質向上研修（介護2名）	30日 看取り介護
8月	21日 福祉職員初任者研修（介護1名） 28日 〃（介護1名） 28日 介護支援専門員研修（ケアマネジャー）	16日 普通救命講習（AED講習） 23日 〃 30日 〃
9月	3日 ケアテックワン（介護主任・副主任）	27日 感染症対策（栄褥感委員主催） 27日 ベトナム人について（国際交流）
10月	4日 情報セキュリティ・クレーム対応研修（介護2名） 17日 楽ワザ介護（介護2名） 28日 アンガーマネジメント（事務員）	30日 排泄介助、陰部洗浄
11月	22日 給食施設研修（管理栄養士）	29日 食事摂取困難者対応研修
12月	10日 機能訓練担当者研修（機能訓練指導員） 19日 〃	27日 身体拘束防止
1月	22日 個別機能訓練実務研修（機能訓練指導員）	1日 人権・コンプライアンス
2月	1日 介護に関する入門的研修（介護3名） 13日 メンタルヘルス研修（事務員）	7日 人権・コンプライアンス 28日 看取り介護
3月	新型コロナウイルス感染拡大防止策により中止	27日 メンタルヘルス、アンガーマネジメント（事務員）

《行事食実績》

4月	1日 新入職員応援メニュー 23日 リクエストメニュー(いなり)	10月	6日 避難訓練炊き出し 8日 みず和の郷開設記念(寿司) 27日 芋煮会 29日 リクエストメニュー(ほうとう)
5月	5日 こどもの日 23日 郷土料理(岩手:ピーマン味噌) 28日 リクエストメニュー(豚カツ)	11月	21日 郷土料理(九州:チキン南蛮) 26日 リクエストメニュー(海老天丼)
6月	10~16日 健康週間(便秘解消献立) 25日 リクエストメニュー(焼そば)	12月	22日 冬至(かぼちゃ) 19日 リクエストメニュー(すいとん) 25日 クリスマスメニュー 31日 年越しメニュー
7月	7日 七夕メニュー 27日 郷土料理(三重:うぎく) 30日 リクエストメニュー(冷中華)	1月	1~2日 正月おせち料理 3日 三日とろろ 7日 七草粥 15日 小正月 23日 郷土料理(中部地方:めった汁) 28日 リクエストメニュー(ナムル)
8月	3日 夏祭り屋台 14~15日 お盆(そうめん、天ぷら) 27日 リクエストメニュー(カレー)	2月	3日 節分 20日 郷土料理(福島:しみ豆腐) 25日 リクエストメニュー(鶏天)
9月	11日 敬老会祝い膳 19日 郷土料理(広島:舞茸ご飯) 23日 秋分の日(おはぎ) 26日 リクエストメニュー(焼そば)	3月	3日 ひな祭り 20日 春分の日(ぼたもち) 24日 リクエストメニュー(かつ丼)